

「合わせた指導」グループ

本校舎中学部：佐藤陽子 中條明美 大崎裕子 本木美保子

本校舎高等部：鎌田雅彦 佐藤規 宍戸武美 藤澤りつ 佐藤由紀子
伊藤晃 多田雅彦 田村友子 吉田恵理子 遠藤綾子
佐藤蘭子

山目校舎小学部：石川則子 佐々木千尋

千厩分教室小学部：榊茂子 中西ちか子 皆川桂輔

1 研究テーマ

生きる力、生活する力、働く力を育む指導について、キャリアプランニング考察をふまえた実践を通して共通理解を図る。

＜テーマ設定理由＞

本グループは「合わせた指導」である、小学校段階における「遊びの指導」、中学部段階における「生単」「作業学習」、高等部段階における「作業学習」に課題を据えて研究を進める。それぞれの領域が持つめあてや内容などは異なるが、役割を再確認するとともに、児童生徒の「生きる力」「生活する力」「働く力」に向けて指導していくという視点から、相互のつながりがあるという観点に立ち、本校の系統的な指導はどうあるべきかを考えていきたい。

2 研究内容

＜遊びの指導グループ＞

テーマ「楽しい！そしてワクワク！－児童のこれからの生活につながる遊び－」

- ・遊びの位置づけの検討
- ・授業実践
- ・授業の振り返り（児童の評価、授業の評価）
- ・遊びの授業のまとめ

＜生活単元学習グループ＞

生単の学部ごとの目標、内容を整理し、一つの学校としての進め方を考える。

- ・キャリア教育全体計画、生単の内容について調べる。
- ・それぞれの学部の年間指導計画を集めて共通点や内容、目標について整理する。
- ・年間指導計画の骨子案を作る。
- ・遊びの指導や作業学習とのつながりを加えて提示する。

＜作業学習グループ＞

生徒の障がいや個性が多様化し、作業学習における各教師間での意識の統一が課題となっている。学校キャリア教育全体をもう一度見直し、指導上何を大事にしていくか、何に配慮をしながら進めていくかを検証し、具現化する。

- ・本校のキャリア教育全体計画の見直しと、国総研キャリアプランニングマトリックスの内

容を再確認する。

- ・日々の授業を振り返り、課題と成果をまとめ、ビデオで指導方法や内容を検討しあう。
- ・検討した支援方法で、授業改善を行う。
- ・授業を振り返り、成果と課題をまとめ、次年度につなげる。

3 研究計画

5月	各グループで、小グループ作成の上、テーマ、研究内容を決定する。
6月	小グループでの研究実践検討①
7月①	小グループでの研究実践検討②
7月②	課題別グループ内での研究内容を確認する。
8月	小グループでの研究実践検討③
9月	小グループでの研究実践検討④
10月	小グループでの研究実践検討⑤
11月	課題別グループ内での研究実践をまとめる。
1月	成果と課題についてまとめる。

4 成果と課題

(1) 成果

第一年次の「合わせた指導」グループでは、それぞれの小グループで課題を据えて活発な研究活動を進めることができた。特に、各グループでキャリアプランニングを洗い直し、それをふまえながら実践に基づいた研究ができたことが成果であった。

(2) 課題

第二年次においては、一年次と同様にキャリアプランニング考察に基づいた教育計画であるということを基本に据え、授業実践の検討を主としながら、様々な工夫と創意を加えた授業づくりをしてそれをまとめていくことを課題としたい。